

とっとり 県議会だより

平成30年9月定例会



主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~8p
お知らせ	8p
委員会活動	9p
議決結果	10~11p
高校生議会	12p



星取県～大山にかかる星の架け橋～ (撮影：柄木孝志)

9月定例会の概要

9月定例会は9月18日、平井知事から総額142億4千万円余の平成30年度鳥取県一般会計補正予算など26議案が提案されて開会した。議案のうち7月豪雨対策に係る補正予算2議案は、早急な対応が必要なため、9月25日の本会議で採決、可決した。

また、9月30日には台風24号が本県に最接近して大きな被害に見舞われ、これにより10月5日に関連の追加補正予算が提案された。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党と会派民主が、一般質問には25名の議員が登壇。県政の諸課題につい

て知事らと活発な議論を展開した。

質問戦でも議論となった二巡目国体の招致については、関係団体から議長に要望書が提出されたことを受け、議会内で協議の結果、招致に係る決議を行うことに決定。議員提出議案として提案し、全会一致で可決した。

その結果、知事提出議案については、25議案を原案どおり可決、承認し、決算認定2議案を継続審査とした。

議員提出議案については、上記の決議のほか、「平成31年度当初予算等における林野公共事業予算に関する意見書」等の2議案を提案。原案どおり可決し、10月15日に28日間の会期を閉じた。

表紙の写真

大山開山1300年を記念して「大山の四季」の写真を掲載しています。

大山圏域をフィールドとして活躍のカメラマン柄木孝志さん撮影の大山です。

今回のテーマは「冬の大山」です。



代表質問

鳥取県議会自由民主党



選挙区 米子市
議員 齊木 正一

豪雨災害からの復旧と教訓

問 平成30年7月豪雨災害から学ぶべき教訓をどう捉えているか。

答 今回の被害を将来への手痛い教訓としなければならぬ。「安全・避難のあり方研究会」を創設し、有識者や国、市町村等が加わって作業を進めている。ダムの取扱いの見直しや避難に関する情報を地域の人に理解していただくための啓発、更には、自助・共助の観点から危険を察知したら自ら動いてもらう、隣近所で助け合って避難してもらうなど、いろんなご意見を取りまとめていく。

県財政の現状と将来の課題

問 一般会計決算は大変厳しい状況であるが、知事の現状認識は。

答 中部地震や豪雪への対処に加え、交付税が一律に削減され続けている。また、公債費負担や社会保障負担の増加により、非常に厳しい状況と言わざるを得ない。

問 国の概算要求に対し、本県はどのように来年度予算に反映させるのか。来年度予算編成に向けた所見は。

答 交付税は今後も厳しい状況が続く。働き方改革や子ども教育無償化等の国事業について、今後もよく情報収集しながら反映させる。来年度当初予算はエチケットとして、骨格予算とする必要があるが、メリハリをつけて編成する。

高速道路の四車線化促進

問 米子自動車道の暫定二車線区間の付加車線設置について、今後の取組方針と見通しは。

答 齊木議員には議連の会長として国土交通省等への要望活動を行っていただいております。国でも新たに方針が示される中、議連とも連携しながら一体となって取組を進めていく。

鉄道の高速化推進

問 特急やくも号の新型車両導入について、早期の導入の見通しは。

答 JR西日本からは、平成34年度にまず一編成四両の新型車両を導入する見通しであると伺っている。

航空ネットワークの充実

問 米子ソウル便の増便にあたって、インバウンド・アウトバウンド双方の取り組みをこれまで以上に強化する必要があるのではないかと。

答 10月末から六便化がスタートする。目標搭乗率の80%は高いハードルであり、山陰両県以外の客層も取り込む必要がある。エアソウルとも連携したキャンペーンを展開しており、さらに強化していく。

大山開山1300年祭

問 大山開山1300年祭をどう総括しているか。

答 西日本豪雨という痛手があったが、達成感・満足感を語る関係者が多い。報道によつて全国的にも認知が広がった。大山の集客力が上がり、そこに水木しげるロードのリニューアルも加わり、大山と一体となった全体の底上げに繋がっている。

二巡目国体の決定時期

問 二巡目国体開催時期の検討状況

は。早い時期に決定すべきだ。

答 県体育協会や県障がい者スポーツ協会の考え方に従つて開催時期を判断するのが妥当。県議会のご意見を承り、それに基づいて2033年国体、障害者スポーツ大会を招致する方向でまとめるべき。私としては議員のご意見に全面的に賛同することができるだけ早く、まずはスタートを切ることが必要だと思つた。

水田農業の振興

問 今後の本県のコメ政策についてどのような展開を考えているか。

答 作付面積と一等米比率を上げていく。JA西部が取り組んでいるGABA米（※）など、一歩先を行くような販売戦略を進めていく。

学力向上に向けた取り組み

問 全国学力・学習状況調査結果を受け、どのように取り組むのか。

答（教育長） これまでの取組全体を見つめ直し、底上げを図る必要がある。専門家や市町村、民間など外部を交えた会議で検討を進める。

特殊詐欺被害防止

問 対策を強化する必要があるが、どのように取り組むのか。

答（警察本部長） より幅広い年齢層の被害防止に官民一体で取り組む。

※GABA米・・・玄米の栄養成分「ガンマアミノ酪酸（GABA=ギャバ）」が豊富に含まれた白米

代表質問

会派民主



選挙区 東伯郡
伊藤 保 議員

避難情報の出し方を検討

問 7月6日、鳥取県に初めて大雨特別警報が発表された。災害発生が想定される中での避難情報の出し手と受け手の相互理解が不十分だった。改善すべきではないか。

答 例えば避難指示であれば「直ちに避難を完了してください。危険が極めて高くなっています。」と一言交換するなど市町村を含めて今一緒に検討している。

防災重点ため池は85ヶ所

問 7月豪雨で決壊した広島島の三連ため池を視察した。県内の防災重点ため池の指定基準と今後の防災対策は。

答 防災ため池の基準は、堤の高さ

が15mとか下流に集落があるか等で現在85ヶ所設定しており、さらに9月中に298ヶ所の点検を終える。洪水吐けの改修なども含めて総合的に対策をとるようにする。

消費増税の効果に疑問

問 平成26年、消費税が8%に引き上げられ、地方消費税の0.7%上乘せ等が行われたが、実際に地方財政の充実になったのか。

答 国の仕掛けとしては、一般財源は増えると想定されていただろうが、歳出特別枠の廃止や制度的な見直しで、平成25年と平成30年を比較すれば15億円減少している。消費税が10%になるが、それ相当の対策を考えなければいけない。

財源調整機能を強化すべき

問 地方税である法人事業税は偏在性が強いことから、暫定的に地方法人特別税が創設されて再配分されてきたが、これが廃止され法人事業税に戻される。偏在是正が縮小すると思うが、知事の所見は。

答 最近の財源調整はうまくいって

いない。特に法人課税が税収の偏在性を拡大している。地方交付税の方で、財源保障機能と合わせて財源調整機能を強化すべき。従来の経緯の中での制度改正だが、もう一度頭を冷やして考えるべき時だと思う。

中止でも「安全は別問題」

問 泊漁港整備事業として進められていた第二沖防波堤工事120mが、県公共事業評価委員会において費用対効果が見込めないとの理由で30mを残して中止された。「安全」も費用対効果の中で削減の対象にされるのか。

答 私が就任する前に中止が決定されたものだが、中止であっても地元の声の聴く必要がある。事業の再開となれば、事業効果、波高の問題等課題はあるが、安全は別の問題であるので今後事情を伺っていく。

介護は戦略的に重要な分野

問 平成29年度介護労働実態調査結果で介護職員の離職率は、16.2%と他の産業に比べて高い状況になっているが対応策は。

答 近年処遇の改善等により離職率は若干減少傾向にあるが、介護職は非常に重要な戦略的な職業分野である。問題意識を持ち、様々なアプローチで人材確保に当たりたい。

鶏糞の炭化で牛舎を消臭

問 鶏糞を炭にしておが粉に混ぜ、敷料として1千頭の牛を肥育している香川県の牛舎を視察した。牛舎は工業用団地の一角にあったが、においや蠅も少ないうえ、肥育につきものの皮膚病も見られなかった。循環型の畜産を推進するため県が主導して検討してはどうか。

答 職員も実情を見てきたが、確かに改善効果があるようだ。活性炭ぐらいの効果があると思われ興味深い。お互いの融通の中で循環すればコスト削減にもなる。試験場で安全性の点検や応用できる分野の研究などをしてみたい。

文化財を観光振興に連携

問 県教委にある文化財業務が、平成31年度から知事部局に移管されると発表された。文化財業務の原点は、発掘、調査、研究であり、この原点が希薄になりはしないかと危惧するが知事の認識を伺う。

答 文化財は、学芸員の知恵を十分に入れながら発掘や調査を進め、地域の新しい観光資源とし、子どもたちの教育にもつなげるもの。新年度から青谷上寺地遺跡の整備も本格化する。知事部局に入れば観光振興など様々な連携がやりやすくなる。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



澤 紀男

議員

選挙区 米子市
会派 公明党

キャッシュレス化の推進について

問 2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、外国人旅行者への対策として政府はキャッシュレス化を進めようとしている。一番進んでいるのは、韓国の89%、中国が60%、米国が45%、日本は18%という統計調査がある。鳥取県のインバウンド対策としてのキャッシュレス化の推進について知事に伺う。

答 観光の環境づくりとして、キャッシュレス化やバーコード等の新しい技術を使つての金融決済のやり方など当初予算等での対応も含め進めていく。



島谷 龍司

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

布勢を障がい者スポーツの聖地へ

問 布勢総合運動公園での障がい者スポーツの拠点整備に合わせて、積極的な合宿誘致などにより聖地化を図るべきでは。

答 日本パラ陸上が開催され、ソフト、ハード両面にわたって鳥取市が障がい者スポーツに理解があると受けとめられている。最近布勢を拠点に吉岡温泉を活用した合宿も行われており、パラリンピックでのジャマイカチームの合宿も決まるなど、こうした合宿を受け入れながら国内外のスポーツ、パラスポーツの拠点になればと考えている。

9月定例会では、25人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

会派正式名称

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
- 【会派自民政】 会派自民政
- 【会派民主】 会派民主
- 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団
- 【希望^{のぞみ}】 鳥取県議会会派希望^{のぞみ}
- 【共産党】 日本共産党鳥取県議会議員団



坂野経三郎

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

ICT遠隔授業国際バカロレア(※)

問 ①遠隔授業を可能とするロボットOriHimeは非常に効果が高い。日本財団の支援が終了する来年度以降も継続すべき

②平成元年の時価総額世界トップ50社中、日本企業は32社。現在は世界43位のトヨタ1社。詰め込み型の教育から、課題解決能力を高める教育に、より重点を置くべき。国際競争力を高めるバカロレア教育が必要だ。

答 (教育長) ①国へ支援要望すると共に来年度予算にて検討する②ハードルは高いが、取り組みについては随分と参考になる。



松田 正

議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

淀江産業廃棄物最終処分場について

問 地元淀江の状況を鑑みると、建設への道筋をつけてしまうということは絶対にあってはならないと思う。知事は任期中に決着をつけられる考えなのか。

答 今は情報交換、意見調整、コミュニケーションという手続であり、仮にこれが終わったとしてもその後廃掃法の手続がある。任期中に物理的に終わるかといえばそれは終わらないであろうということが常識的な相場観かと思う。決して期限を限って急いで物事を進めればよいとは私自身も考えてはいない。



福田 俊史

議員

選挙区 八頭郡
会派 会派自民政

公立小中学校への冷房設置について

問 県内公立学校の冷房設置率の調査結果を見ると県立高校は100%だが小中学校では24%と全国平均50%を大きく下回っている。鳥取県の将来を担う大切な子どもたちの命を守るため冷房設置を支援すべきではないか。

答 小中学校の施設整備は市町村の役割。国の助成制度もスタートするのでリサーチし適切に対応したい。国の対策と市町村の熱意で、この課題は解消へ向かうのではないかと期待している。今後もしっかりフォローしていきたいと思っている。

※国際バカロレア・・・国際的な視野を持った人材の育成を目的に、国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



興治 英夫

議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

倉吉市、小川家の保存活用を

問 倉吉市河原町にある県指定文化財小川家住宅及び庭園は、ご当主が逝去の上、地震で被災したため、全面的な保存活用が見通せない状況。文化財としての価値、活用の可能性、被災後の現状についての所見を。

答 非常に価値あるもの。保存活用に向けたこれまでの努力を評価したい。大切なのはもう一度体制を作ること。小川家と話をされ、公開に向けて倉吉市としてどう実現するのか、考え方ははっきりさせることが必要。県は応分の協力を申し上げる。



福浜 隆宏

議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①②子育て③洋上風力④ジオパーク

問 ①国の社会的養育ビジョンでは里親委託率75%目標で非現実的。県方針は？②虐待防止で“地域の聴き役”作りを③洋上風力の先進地を調査研究し漁業者・経済界に情報提供を④SDGs(※)達成を目指すユネスコ方針に習い、観光地だけでなく伝統産業を中心とした世界発信を。

答 ①数字だけを目標にせず子どもの立場で考える②“とっとり子育て隊”を地域の相談相手とする役割を検討したい③調査研究し情報提供する④大いに共鳴。新展開の基軸のひとつに。



藤井 一博

議員

選挙区 東伯郡
会派 会派自民党

医師確保について 災害対策について

問 ①医師の働き方改革について本県の取り組みは②医師偏在への対策は③災害時の福祉避難所の開設、運営が円滑に行われるように対策はとっているか。

答 ①これまで女性医師の復帰プログラムなど先鞭をつけてきた。県医師会に様々な各種啓発プログラムなどを委託しながら共同で取り組んでいく②圏域別の医師充足数を参考にしながら、医師派遣について大学と交渉をするなど対応する③福祉避難所の立ち上げといった実働訓練の実施なども考えていく。



錦織 陽子

議員

選挙区 米子市
会派 共産党

島根原発3号機、 子どもの虫歯対策

問 ①国が中電の島根原発3号機の新規制基準適合性審査の書類の不備を指摘。県は見過ごした。中電に撤回を求めよ②子どものむし歯の未処置の実態、予防と対策③フッ化物洗口の検討推進を。

答 ①中電の申請に対して答えを出す必要があった。認めたのではなく留保とした。国の審査を注視する②むし歯該当者の半数以上が未治療。モデル的に市町村単位で対策検討会開催予定③保育所は半数超(教育長)小中学校は2町で実施。歯科保健推進計画や関係機関の連携等で協議する。



濱辺 義孝

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

避難所の安全防犯 対策等体制整備を

問 公明党100万人訪問・調査運動アンケートで、避難所における安全・防犯対策、災害時要援護者の把握、連携が必要とする回答が多くあった。特に、高齢者や子ども、女性、障がい者、外国人等、安心して避難できる体制整備について知事に問う。

答 総合して、市町村と研究調査をして、避難所の体制整備等の課題が見えた。今年に入り、課題に対する対策として県の避難所マニュアルを改正した。市町村の方にも見ていただきながら順次展開して行くことになる。



中島 規夫

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

鳥取県・鳥取市 政策連携懇談会

問 県・鳥取市政策連携懇談会の議題①鳥取西道路周辺活性化②中核市にふさわしい鳥取駅周辺整備について、所見を伺う。

答 トップレベルでも胸襟を開いて意思疎通を図り、課題を動かしていく。鳥取西道路開通に伴う観光活性化と地域興し、鳥取駅周辺の課題解決に向けて協議会を設置。①(教育長) 日本人類学会のDNA研究を契機に青谷上寺地遺跡を日本中世界中に情報発信したい。②(警察本部長) 鳥取駅周辺の賑わい創出に賛同。関係機関と前向きに検討したい。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



西川 憲雄

議員

選挙区 八頭郡

会派 自由民主党

7月豪雨災害からの復旧の取り組み

問 ①支え愛マップ作りに避難訓練も取り入れては②作業道の復旧支援を期間延長は③災害復旧にあたり工法を含む長寿命化の取り組みは出来ないか。

答 ①避難訓練などもステップアップ事業として交付対象に考えていきたい②県の単独の制度なので本当は31年度終了だが31年度事業開始で会計的にもクリアできる③台風や豪雨の頻発を受け、やり方をシステムチックに変え、水に対するかわり方や災害の対応の仕方を変えていく必要がある。



川部 洋

議員

選挙区 倉吉市

会派 希望(のぞみ)

人口減少時代の労働力不足対策

問 労働力不足が進むと高齢者・女性・外国人雇用では足りず、ICT・AI・ロボットの導入により省力化・生産性の向上を進めることが行政を含め、あらゆる分野で必要ではないか。

答 鳥取県では経済成長創造戦略の中で第4次産業革命を中心課題に入れており、労働力不足を補うためにもIoT、ロボット化の推進を図っていきたい。また、行政分野での、ロボットによる業務の自動化は非常に面白いチャレンジになると思うので積極的に導入を図りたい。



横山 隆義

議員

選挙区 東伯郡

会派 希望(のぞみ)

医療福祉人材確保 高齢者の口腔ケア

問 ①県内の医療福祉分野で働く人をどう確保していくのか②高齢者の誤えん性肺炎予防には口腔ケアが重要だが、介護報酬改定によりデイサービス施設などの歯科診療が医療保険も介護保険も対象外。県独自のスキームで支援をしては。

答 ①奨学金制度等により増えてきているが、AIやロボット導入などいろんな工夫が始まっている②現時点では支援には至っていないが重要なことであり、市町村、医療機関などを通じて定期的な口腔健診を働きかける。



野坂 道明

議員

選挙区 米子市

会派 自由民主党

防災対策と県土の強靱化について

問 ①直ちに避難行動を取らない理由に正常性バイアス(※)の影響が指摘されている。今後の避難行動のあり方に警鐘を鳴らしていると思うが②頻発する自然災害をふまえ強靱化の観点からも十分な維持管理費の確保が重要だと思うが。

答 ①非常に重要な指摘であり災害の危険度を認識・共有し、日頃の話し合いや訓練も必要で、取組を強化したい②新たな財源措置として公共施設の適正化債がありこのような有利な制度を入れていくのも手だと思う。



長谷川 稔

議員

選挙区 倉吉市

会派 無所属

島根原発3号機 適合性審査申請

問 島根原発3号機の新規制基準適合性審査申請に対し、県の判断はなぜ審査結果後なのか。2号機申請で用いる基準地震動等を3号機申請に転用すべきではない。また、立地自治体同様の安全協定締結を求めるべき。

答 安全協定に基づき、申請をされれば県は答えを出す必要がある中で、判断を留保としたもの。中国電力には、なぜ申請を急ぐのかと伝え、事業者の対応が最終判断に影響する旨も回答。立地自治体同様の安全協定締結は文書で申入れ済み。



藤縄 喜和

議員

選挙区 鳥取市

会派 会派自民党

美術館市と協議をネーミングライツ

問 ①県立美術館建設で放置された重要な課題を解決するため、鳥取市と協議を始めるべき②布勢運動公園の自動販売機がすべてコカ・コーラ社になった理由は。

答 ①鳥取市には様々なご迷惑をかけていることを自覚している。長年の課題に道筋をつけるべき。真摯に誠意を持って話し合いたい。②ネーミングライツ企業に一定の配慮をした。ただ、県産業振興条例の趣旨を踏まえ、県内同業者の受注機会確保を検討する。

※正常性バイアス・・・心理学用語で、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人の特性のこと。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



市谷 知子

議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

災害対策、小中学校エアコン設置

問 ①河川の土砂等除去予算が要望の2割。抜本的増額を②青谷の台風24号浸水被害に直接補填を③被災住宅支援は被災1件から④千代川洪水時の避難体制確立⑤防災無線戸別受信機設置⑥小中学校エアコン設置支援。

答 ①必要に応じ予算を措置②青谷こども学園は速やかに復旧支援。企業には経営革新制度等寄り添って支援③しない④県有施設の利用調整など早期確立を支援⑤倉吉除く全戸配布方針ない3市は設置検討を⑥10月下旬の国方針踏まえ県対応を考える。



浜田 一哉

議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

就業支援の取組みについて

問 産業人材育成センターの職業訓練生の情報を県立ハローワークと共有すべきではないか。

答 人材センターと県立ハローワークとのブリッジも重要で、地域や商工団体、企業との連携についても一層強化する。

問 高校卒業時に県立ハローワークに登録してもらい、県内企業の情報を提供するなど、教育委員会との部局横断的な取組みを検討すべきではないか。

答 登録を進めていく。(教育長) 学校現場、関係機関、知事部局と連携し対応していく。



銀杏 泰利

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

観光振興、地どり豪雨洪水対策を

問 ①ポケモンイベント開催②鳥取地どりは③⑦杉崎浸水問題、洗井川対策④旧砂田川とJR橋梁の一体的整備⑤殿ダム放流で中河原集落へ放送届かず。

答 ①閑散期にポケモンを活用したイベントを調整している②新しい経営体の可能性も出てきた。まとめれば援助する③⑦大路川治水懇談会に津ノ井地区の参加を市に提案する。洗井川浸水対策は市が主体だが、県も技術的助言を行う④下流の整備終了を勘案して着手する⑤3時間前に前倒しなど改善を求める。



浜崎 晋一

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

関係人口の視点による地域づくり

問 関係人口が生み出す力を地域に引き込むため、地域課題と社会貢献したいと考える都市の若者とをマッチングする窓口として「関係案内所」を設置することが必要ではないか。

答 世の中の中のトレンドが変わり、20代、30代の若者の居場所探しが地方に向かい始めている。東京や大阪、更には県内にも関係をつなぐスポットがあってもよいと思う。新年度に向けて関係案内所というコンセプトをどのように形にしていけるのか、検討させていただきたい。



浜田 妙子

議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

ロービジョン(*)ケア 産後ケア 他1件

問 ①ロービジョンへの総合支援のため、早期の拠点病院設置と当事者参加の協議会が必要②0歳児虐待や産後うつ自殺の社会問題に対し、妊婦への確実な情報提供と相談事業のスキルアップを③独立した犯罪被害者支援条例の検討が必要。

答 ①拠点病院は鳥大側に必要な働きかけをしたい。関係者が入り、まずはワーキング会議をさせて頂く②市町村と協議し周知徹底を図り、スキルアップの充実強化を図る③関係者と相談させて頂きたい。



内田 隆嗣

議員

選挙区 米子市
会派 会派自民党

白ネギ産業の持続可能性について

問 白ネギの共同選果場で処理能力を超えた時、処理しきれないものが腐り廃棄されるため、保冷庫を設置してほしい。また、黒腐菌核病対策として新薬も補助対象としてほしいという声が上がっている。白ネギ産業が将来的に持続的であるために、この問題を解消できないか。

答 保冷庫についてはロスの出ないように、代替策も含めてよくご相談したい。病害対策の新薬については、農水省が解禁を下せば導入する方向で考えていきたい。

*ロービジョン・・・視機能が弱く矯正もできないが全盲ではない視覚障害。従来は、弱視、低視力、見えにくい人と呼ばれた。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問

【お詫びして訂正します】

平成30年6月定例会号6ページ 藤縄喜和議員の一般質問中、答①の「2023年」は誤りで、正しくは「2033年」でした。お詫びして訂正します。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。



前田八寿彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

県出資法人等の活性化のために

問 昨年11月議会で、県出資法人の人事の固定化の防止について質問し、知事から一定のルールを考えたいとの答弁があった。ルールづくりはどうされたのか。人事の固定化は改善されたのか。知事の所見を伺う。

答 今議会中にガイドラインを提示したい。具体的には雇用年齢の目安と報酬の目安を示したいと考えている。人事の固定化の改善状況については、65歳を超えた県職員OBがこの1年で6名退任され、若手への切り替えが行われているところ。



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

常勤講師の処遇改善について

問 講師不足が議論されている。講師は担任を持ち教諭と全く同じ仕事をしながら、何年しても給与は23万円弱。その上、人件費抑制のため意図的に任用の空白期間を設け処遇を悪くしている。まさに講師はブラック中のブラック。国はH26年にこの空白期間の問題の是正通知を出している。処遇を改善すべきと考えるが所見を求める。

答（教育長） 講師の任用の案内の年内への前倒しや、空白期間の問題について国の通知の趣旨に則り関係機関と協議したい。

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット (<https://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>) で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課 (☎0857-26-7460) へお問い合わせください。

11月定例会の日程案

期 日	日 程
11月28日(水)	本 会 議(開会・提案理由説明)
29日(木)	常任委員会
30日(金)	本 会 議(代表質問)
12月 4日(火)	本 会 議(一般質問・質疑)
5日(水)	
7日(金)	
10日(月)	
12日(水)	
13日(木)	常任委員会
17日(月)	
18日(火)	特別委員会
19日(水)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

みなさまへ

「とっとり県議会だより」は、6名の議員で構成された広報委員会で編集作業を行っております。少しでもわかりやすく県議会の動きをお伝え出来ればと考えております。さて、鳥取県議会では15年後2033年開催の2巡目国体招致の決議を行いました。1985年の「わかとり国体」以来の国体となります。今から楽しみです。(広報委員会 M)

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）（平成30年7月豪雨対策関係）をはじめ10議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決または承認すべきものと決定した。

陳情については、新規の陳情が3件（1件は後日取り下げ）あり、すべての国民が個人として尊重される社会の実現を働きかける意見書の提出を求めるもの、日本国憲法の改憲に係る慎重な議論を求める意見書の提出を求めるものについて、慎重に審査を行った結果、いずれも不採択と決定された。

福祉生活病院常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の補正予算など9件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。また、陳情3件について慎重に審議を行った結果、1件を趣旨採択、2件を不採択と決定した。

そのほか8月に倉吉市内で「介護職の処遇改善、人材確保について」をテーマに出前県議会を開催し、関係団体と行政から取組状況を聞き、意見交換を行った。

県外調査では、民泊条例制定及び実施状況、障がい者の工賃向上等、2次医療圏での公立病院の広域的役割、過疎地域の訪問看護、風力発電建設ガイドラインについて調査した。

農林水産商工常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など12議案について慎重に審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

県外調査では、長野県、富山県、石川県を訪問し、宇宙航空産業、農業体験型教育旅行の受入や6次産業化等を通じた農業生産者の所得向上、優良無花粉スギの開発と普及、漁協による市場の拠点強化について調査した。

また、5月に実施した県外調査に基づき、県施策への反映の参考にしてもらうよう、ファイナブル活用に向けた研究等について提言を行い、執行部と意見交換を行った。

地域振興県土警察常任委員会



9月定例会では、平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など5議案について慎重に審議を行った結果、いずれも妥当なものと認め、原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情4件について慎重に審議を行った。このうち、「島根原発3号機に係る原子力規制委員会における審査申請について」は、3号機審査の初会合で、中国電力が原子力規制委員会から申請書の記載内容が不十分との指摘を受けたことは遺憾なことであるが、県では、国に対して最新の知見を反映し、厳正に確認・審査を行うことを継続的に要望し続けているところであることなどから、趣旨採択と決定した。

自由民主党				会派自民党				会派民主				公明党		希望	共産党	無所属	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果														
浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	前田八壽彦	松田正	安田優子	上村忠史	内田隆嗣	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	山口享	稲田寿久	伊藤保	興治英夫	坂野経三郎	浜田妙子					福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝	川部洋	横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏			
議案に対する賛否																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
委員長報告に対する賛否																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	趣旨採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	趣旨採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	21	12	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」「継続審査」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑳	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立大山青年の家）について	可決
㉑	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立船上山少年自然の家）について	可決
㉒	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立生涯学習センター）について	可決
㉓	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立むきばんだ史跡公園）について	可決
㉔	平成29年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成29年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
㉕	平成29年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
㉖	専決処分の承認について（1）平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）	承認
㉗	平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第5号）	可決
❶	議会の権限に属する事項中、知事において専決処分すべき事項指定の件の一部改正について	可決
❷	平成31年度当初予算等における林野公共事業予算に関する意見書	可決
❸	第88回国民体育大会及び第33回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議	可決

平成30年9月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党					
		内田博長	齊木正一	島谷龍司	中島規夫	西川憲雄	野坂道明
⑦	特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑨	鳥取県林業試験場手数料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑫	財産の処分（鹿野かちみ園及び鹿野第二かちみ園）について	○	○	○	○	○	○
⑬	財産の処分（皆生尚寿苑）について	○	○	○	○	○	○
⑮	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取砂丘こどもの国）について	○	○	○	○	○	○
⑯	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館）について	○	○	○	○	○	○
⑲	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり賀露かっこ館）について	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告					
陳情30年-16	西日本豪雨災害に係る対応及び意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-17	スマートフォンを使用した運転行為の根絶について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-18	すべての国民が個人として尊重される社会の実現を働きかける意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-19	打吹公園動物舎のカイウサギの怪我と飼育方法について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-21	精神障がい者の交通運賃割引制度について他の障がい者と同様な適用を求めることについて	趣旨採択	○	○	○	○	○
陳情30年-22	消費者行政の拡充を求める意見書の提出等について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-23	島根原発3号機に係る原子力規制委員会における審査申請について	趣旨採択	○	○	○	○	○
陳情30年-24	日本国憲法の改憲に係る慎重な議論を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○
陳情30年-25	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

平成30年9月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）（平成30年7月豪雨対策関係）	可決
②	平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第4号）	可決
③	平成30年度鳥取県営林事業特別会計補正予算（第1号）（平成30年7月豪雨対策関係）	可決
④	平成30年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第2号）	可決
⑤	平成30年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第2号）	可決
⑥	鳥取県税条例等の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県建築基準法施行条例の一部を改正する条例	可決
⑩	鳥取県営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑪	工事請負契約（国道178号（岩美道路）橋梁上部工事（浦富高架橋）（2工区）（補助））の締結について	可決
⑭	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立福祉人材研修センター）について	可決
⑰	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立二十一世紀の森）について	可決
⑱	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立とっとり出合いの森）について	可決

平成30年度 高校生議会



鳥取県の次世代を担う県内高校生が県議会本会議場に集い、知事や教育長らに質問する高校生議会が8月2日（木）に開かれ、県政の諸課題について活発な論戦を展開した。

この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらおうと毎年開催しているもので、今年は記念すべき第10回目。

県内9校から13名の高校生が参加し、指導役に県議会議員が付いて、質問の要領など個別にアドバイスを受けながら質問の原稿作成を進めてきた。

高校生議会当日の議長役には、米子北斗高等学校の松井晴香さん、米子松蔭高等学校の河合真希さん、米子北高等学校の岡田莉沙さん、米子東高等学校の庄司光希さんの4名が交代で務めた。

参加した生徒たちは、日常生活の身近な疑問や今まさに本県が直面している参議院の合区問題、若者の地元離れなど、さまざまな県政課題に切り込み、議員さんながらに鋭い質問・提言を行った。

米子東高2年の庄司光希さんと大原みなみさんは、鬼太郎プロジェクトマップや大山エリアでのポケモンGO誘致、大山ブランドを生かした鳥取県の活性化策について平井知事に提言。

また、鳥取敬愛高校3年の森勇也さんは、鳥取県支え愛交通安全条例について、「まだ県民に認知されていない」「罰則の付与や条例の周知を進める取り組みが必要」と県執行部に質した。

閉会では福間副議長から、「皆さんの声が反映

され実現できるのが政治。選挙で投票し、みんなで政治をつくっていこう」と呼びかけ、参加した生徒からは、「どのような過程で県政が行われているか知ることができた」「今後も、議員と交流できる場をつくってほしい」など大変好評であった。

(質問順)

高等学校名	生徒氏名	質問項目
米子北	岡田 莉沙	合区について
米子東	庄司 光希 大原みなみ	鳥取を盛り上げる今後の政策について
鳥取敬愛	森 勇也	「鳥取県支え愛交通安全条例」の改定と周知に関して
倉吉農業	岩山 泰士	県内産木材の普及、CLT材の利用方法について
境	石黒 蓮 川本 竜也	鳥取県の観光客増加の取組について 1. 観光客増加の取組について 2. ゴミの不法投棄問題について
倉吉総合産業	藤田 和弥 鈴木 沙羅	歩道の除雪について
米子松蔭	河合 真希	若者の夢のきっかけとなる教育 — ICTを使った学習の可能性を考える —
青翔開智	中尾 尚哉 岡 拓哉	道路補修について
米子北斗	松井 晴香	高校生の視点から見た身近な課題 1. 若者の地元離れ 2. 高齢者の移動手手段の確保